

索道事業安全報告書（2019年度）



株式会社鹿島槍

鹿島槍スポーツヴィレッジ [鹿島槍スキー場]

2018年8月1日～2019年7月31日

第1クワッドリフト
第2ペアリフト
第3クワッドリフト
第5ペアリフト
第6クワッドリフト
第7ペアリフト
第8ペアリフト
第10ペアリフト

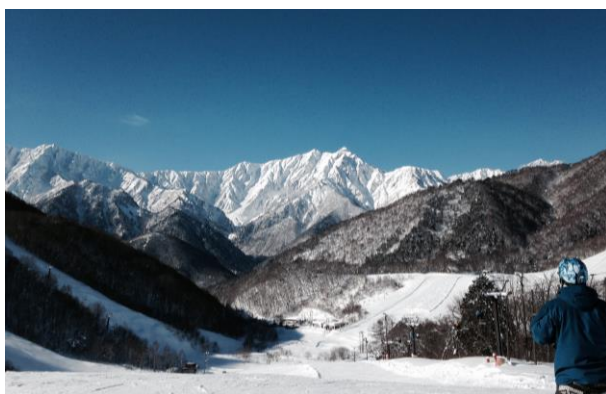


Kashimayari SportsVillage
Ski・Snowboard・Trekking・Run・Bike

鹿島槍スポーツヴィレッジご利用の皆様へ

平素は当スキー場をご愛顧いただき、また当索道事業に対してご理解いただきまして誠に有難うございます。

当社は、スキー場の運営に関するあらゆる問題を解決し、非日常的な時間と空間を演出することにより、一人でも多くの方に自然の素晴らしさ、ウィンタースポーツの楽しさを味わって頂くことを最大の使命としており、ご来場いただける皆様のホームグレンデとして、また、人と自然の接点となれるように、明るく、楽しく、元気な、そして何より安全なスキー場であり続けたいと考えております。「安全は索道事業の根幹である」との信念のもと安全を最優先する意識を徹底し、安全性向上に取り組むとともに法令を遵守しスキー場運営を行って参りたいと考えております。



本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための当スキー場の取り組みや安全の実態について、お客様をはじめあらゆるステークホルダーの皆様にご理解いただくために作成いたしました。皆様からのご意見を当スキー場索道事業の安全輸送に役立てたく、頂戴できれば幸いです。

株式会社鹿島槍
鹿島槍スポーツヴィレッジ
代表取締役社長 西沢 勇人
安全統括管理者 郷津 考茂

1. 安全基本方針と安全目標

安全基本方針

当社の企業理念として、人命を尊重し、安全と健康を重視することを掲げております。さらに当スキー場の経営理念の第一は安全確保においております。当社役員は安全第一の意識をもって索道事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、索道施設及び職員を総合活用して輸送の安全を確保するため『安全基本方針』を次のように掲げております。

- (1) 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、

厳正、忠実に職務を遂行します。

- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

安全目標（2018年8月～2019年7月31日）

当社では全社一丸となった安全管理体制の強化を推進しており、今後においても全社一丸となった安全最優先の意識の高揚を図って参ります。

また、過去に発生した事故のみではなく、危険の予知・予測、事故には至らなかったヒヤリハット事例を漏れなく収集し、他の事故情報と比較して対策を講じる体制を整備いたします。

索道輸送安全目標（2018年8月～2019年7月31日）

- 目標 1 : 人身障害事故発生 0 件
目標 2 : 索道保安設備から起因する事故 0 件
目標 3 : 索道スタッフの不安全行動から起因する事故 0 件

2. 事故等の発生状況と運休状況

索道運転事故 1 件 インシデント 0 件 災害等 0 件

索道人身傷害事故

平成 31 年 3 月 11 日（月）午前 10 時頃、第 2 ペアリフト降り場にてリフトから降車の際転倒、搬器に接触し負傷する事故が発生いたしました。

当社では今後二度と同じ事故が発生しないよう、お客様・乗客への安全誘導や事故防止啓発に重点を置いた従業員教育を徹底いたします。

その他重大事故に至るインシデント、災害等は発生しておりません。強風や落雷恐れ等による一部リフトの一時的な運転見合わせが数回ありましたが、全リフト終日運休はありませんでした。

今後も細心の注意を払い、安全運行を推進しますが、雷や暴風雨雪等の自然災害が発生した場合、安全のため運行を一時見合わせる場合がありますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

3. 索道輸送の安全確保に関する当スキー場の取組み

索道スタッフ教育

索道安全運行マニュアルを作成し、シーズン開始時・就業前に安全運行に関する研修・救助訓練を実施しています。経験者、未経験者に関係なく、スタッフ全員が研修を受けられるよう数回に分け、安全運行マニュアルの修得及び救助訓練に加え、サービス研修や様々な事故事例をもとにした、トラブル対応などを含めた内容にて実施しています。

シーズン中においても定期的なミーティングを行うとともに、トラブルやヒヤリハット事例を常時収集・共有し対策を講じています。また、他スキー場も含めた事故・トラブル事例も速やかに水平展開し注意喚起と安全向上に努めています。



グループ会社の取組み

日本スキー場開発(株)グループ会社間で定期的にミーティングを行い、索道における事故・トラブルヒヤリ・ハットについて他事業者を含む事例の分析対策、技術情報の共有を行うとともに、グループ会社相互で内部監査を行い、安全性の更なる向上に努めております。また春には BCP（事業継続計画）により緊急事態を想定した訓練を行い、秋には合同研修会にて、グループ全体での技術の向上、各社安全対策についての報告会を行っております。

お客様の安全対策

場内注意喚起掲示板を設置しています。また、場内放送内容や乗客係・誘導係の活動を常にチェック、見直しを行い、安全な乗車を促しています。

緊急時の対応訓練

索道運行停止時の救助訓練、予備原動操作訓練等を実施しています。

緊急時に連携をとる近隣救急施設

大町消防署

大町総合病院

4. 索道保安設備の維持管理・改修

整備細則に基づき点検、整備及び検査を実施しています。

全リフトの索受・索輪交換整備、油脂類交換並びに、主に以下の整備を実施しました。

■ 第1クワッドリフト

場内装置更新及び整備

油圧制動・ギアボックス・予備原動機オイル交換

握索機分解整備

索受・索輪交換整備

脱索検出装置更新

緊張シリンダー更新

中空軸整備

UHG ギアボックス整備

非常用ブレーキ皿ばね更新

■ 第2ペアリフト

減速機・油圧緊張・油圧制動 オイル交換

索受・索輪交換整備

握索機スプリングパッケージ分解整備

ワイヤー切り詰め

■ 第3クワッドリフト

減速機・油圧緊張・油圧制動・予備原動機 オイル交換

索受・索輪交換整備

非常ブレーキプライヤー整備

■ 第5ペアリフト

減速機・油圧緊張・油圧制動 オイル交換

索受・索輪交換整備

握索機スプリングパッケージ分解整備

ワイヤー切り詰め

■ 第6クワッドリフト

場内装置更新及び整備

握索機分解整備

握放索レール調整

油圧緊張・油圧制動・ギアボックス オイル交換

電動機ブラシ交換

索受・索輪交換整備

脱索検出装置更新

■ 第7ペアリフト

油圧緊張・油圧制動 オイル交換

索受・索輪交換整備

■ 第8 ペアリフト

減速機・油圧緊張・油圧制動 オイル交換
索受・索輪交換整備

■ 第10 ペアリフト

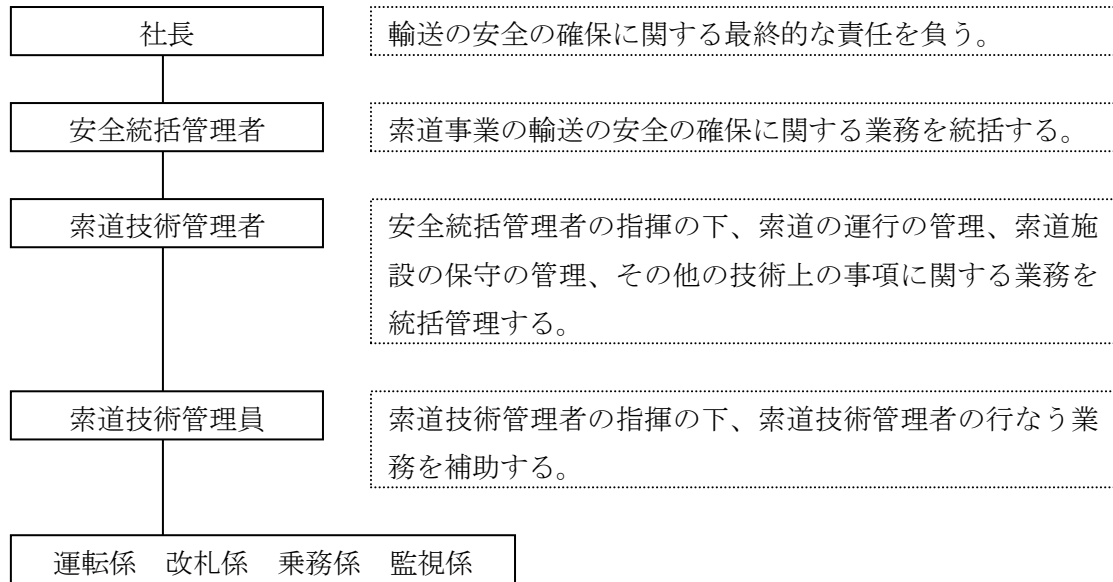
非常用ブレーキ皿ばね更新
油圧制動 オイル交換
索受・索輪交換整備



また、中長期整備計画を策定し、索道設備の永続的な維持管理に努めています。

当スキー場の安全管理体制

平成 18 年 10 月に「安全管理規程」を制定し、社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



役員による場内巡回

当社役員が定期的に当スキー場を巡視し、スタッフとの意見交換を通じて安全管理状況を確認しています。上記の安全管理体制により、安全マネジメントの PDCA サイクル機能の検証、内部監査等を通じて定期的に確認し、その結果により適時改善を行っています。

5. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) お客様の声をかたちにしています

場内 3 ヶ所にお客様の声を聞かせるようご意見箱を設置し、安全やサービスレベルの向上の参考とさせて頂いております。

ご来場の際にお気づきの点がございましたら何なりとお知らせください。

また、当スキー場ホームページ <http://www.kashimayari.net/> でもお待ちしております。

(2) ゲレンデ内の注意事項とお願い

スキー・スノーボードはもともと雪山の中で大自然と共に楽しむスポーツです。その中には事故につながる恐れのある要素が多くあります。標示のあるなしにかかわらず、スキー場のコース内外の状況をよく判断し、事故を起こさないよう、また自然災害に巻き込まれないよう十分注意して滑走して下さい。

当スキー場では、事故をなくすよう常に努めていますが、安全のために大切なのは、何

よりもまずスキーヤー・スノーボーダーの皆様の注意深い行動であることを忘れないで下さい。

1. 吹雪、強風、雨、霧、雷などの天候にはご注意願います。
2. 急斜面、凸凹、地形に注意願います。
3. アイスバーン、雪崩など雪の状態に注意願います。
4. 岩石、立木、自然の障害物への衝突に注意願います。
5. リフト施設、建物、雪上車輛など人工の障害物に注意願います。
6. 他のスキーヤー・スノーボーダーとの接触に注意願います。
7. お客様に合ったコースを選び怪我には十分注意願います。
8. スキー場内では、パトロール、係員の指示や忠告に従って下さい。
9. 当スキー場管理区域外での滑走は責任を負いかねます。
10. 当スキー場ではこの告知及びスキー場の行動規則の無視、軽視による事故には責任を負いかねます。
11. 他人に迷惑を与えるスキーヤー・スノーボーダーには退場していただく場合があります。

(3) リフト乗降時の注意事項

リフトご利用の際には係員の誘導に従い、落ち着いてご乗車下さいますようお願い申し上げます。

6. ご連絡先

本報告書へのご感想、当スキー場への安全に関する取組みに対するご意見をお待ちしております。

〒398-0001

長野県大町市平鹿島檜黒沢高原

鹿島檜スポーツヴィレッジ

索道お客様係

Tel 0261-23-1231 Fax 0261-22-2065

E-mail kashimayari@kashimayari.net



Kashimayari Sports Village
Ski・Snowboard・Trekking・Run・Bike